

鳥取県スーパー工業士認定プログラム受講者の皆さんへ

鳥取県スーパー工業士 キャリア支援補助金のご案内

- スーパー工業士として認定されると、G検定などの資格取得費用や、認定プログラムに関連した分野への進学などを支援する補助金を活用することができます。
- 鳥取県は、スーパー工業士となった皆さんが社会に出て、AI・データサイエンスの知識を深め、鳥取県の未来を担う人材に成長することを応援していきます。ぜひ積極的に活用してください。

1 スーパー工業士キャリア支援補助金とは。

(1) 目的

AIやIoTをはじめとする先端技術に対する知識やデータサイエンスの素養を持ち、次世代のものづくり人材となることが期待されるスーパー工業士のキャリア形成を支援する。

(2) 対象者

認定プログラムで学んだことを活かして、自身の一層の成長に向けてAI関連の検定・資格試験等に取り組んだスーパー工業士認定者



(3) 対象経費

認定日から1年を経過する日の属する年度の2月末日までに支出した以下の経費

- ① AI関連の検定・資格試験の受検に必要な経費
(検定料、教材・学習用PC等購入費、受検に要する宿泊・交通費など)
- ② スーパー工業士認定プログラムに関連した分野への進学に必要な経費
(入学検定料、入学金、受験に要する宿泊・交通費など)
- ③ 認定プログラムに関連した分野のセミナー等への参加
(参加料、教材等購入費、参加に要する宿泊・交通費など)

※在学中に限らず、進学後や社会人になってから関心を持った分野の学びや挑戦も対象です。
※複数の取組への挑戦も可能です。

(4) 補助金額等

上限額 **15万円** 補助率 **10/10**

＝対象経費のうち15万円は全額補助

(5) 対象期間及び申請期間

対象期間：認定日から1年を経過する日の属する年度の2月末日 **※この期間を過ぎると申請できません。**

申請期間：①認定日から認定された年度の2月末日、または②認定翌年度の4月～翌年2月末日

→裏面に続きます。

【お問い合わせ先】

鳥取県商工労働部雇用人材局産業人材課

電話：0857-26-7224 / メール：sangyoujinzai@pref.tottori.lg.jp

とりネット
スーパー工業士キャリア支援補助金



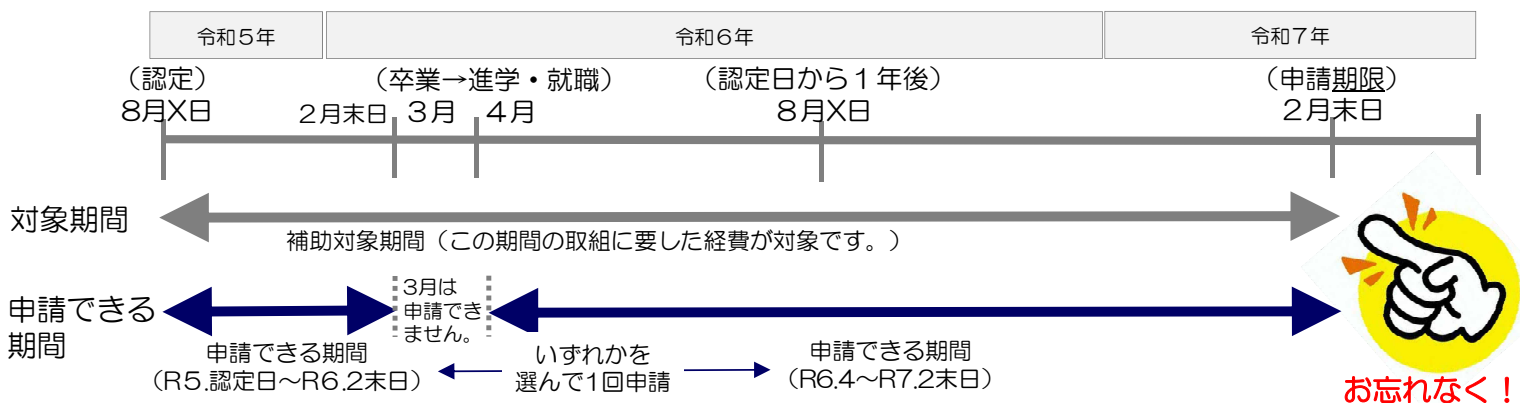
2 補助金の申請の流れ

- この補助金は、対象経費の領収書をもとに県に申請する事後精算方式です。
- 補助金を受領するには、スーパー工業士ご本人の申請が必要です。
- 認定翌年度の2月末日までの、以下の①、②いずれかの申請期間に申請してください。ただし、申請できるのは、①と②の期間をあわせて1人1回です。
 - ①認定日から認定された年度の2月末日、または、②認定翌年度の4月～翌年2月末日



- (例：①の期間で目指す取組を終えた場合)
 - (例：①の期間以降にも支出がある場合)
- 対象経費の領収書など必要書類とともに、郵便またはメールで期限までに申請書を提出してください。(提出書類：申請書、領収書、スーパー工業士認定書の写し)
- 申請書を審査し適正な使用であることを認めた場合は、受領から30日以内を目安に指定口座に補助金を振り込みます。

【イメージ (R5認定者の場合)】



【A | 関連の検定・資格試験の考え方】

- (独)情報処理推進機構、(一社)日本ディープラーニング協会、その他のデジタル・AI関連や製造業関連の団体・企業が主催する検定、認定資格とし、以下に例示する検定・資格、またはそれに準ずるものです。
- この例示以外にも、スーパー工業士認定プログラム受講をきっかけに自身の成長に向けて学習した、同認定プログラムに関連する検定や認定資格も対象とします。
- 本制度はスーパー工業士のキャリア形成や挑戦を支援する制度であるため、補助金交付にあたり受検(験)の成否は問いません。

(検定・資格試験の例示)

必要スキル・知識	関連する検定・資格の例
AI・ディープラーニングの基礎知識や理論、活用方法に関するもの	G検定、E資格 等
プログラミングに関するもの	Python3エンジニア認定基礎、C言語プログラミング能力認定、Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE/Silver SE11 等
ネットワーク、データベースに関するもの	ORACLE MASTER、Linux認定 等
IoT、AI実装に関するもの	AI実装検定、IoT検定、IoTシステム検定 各種AWS認定試験、Oracle OCU認定、PaaS認定 等
画像処理に関するもの	画像処理エンジニア検定 等
データ分析に関するもの	データベーススペシャリスト試験 データベース分析実務スキル検定 (CBAS) 等
ITの基礎に関するもの	情報技術検定2級以上、パソコン利用技術者検定2級以上 ITパスポート、基本情報処理技術者試験 等